

伊勢原市総合評価方式試行ガイドライン
(建設工事)

令和6年4月

伊 勢 原 市

目 次

1	はじめに	1
2	総合評価方式とは	1
3	総合評価方式の基本的事項	2
	(1) 総合評価方式のタイプ	2
	1) 特別簡易型	
	2) 簡易型	
	(2) 技術力等の評価	2
	1) 企業の技術力	
	2) 企業の社会性・信頼性	
	(3) 評価項目及び配点	2
	(4) 落札候補者の決定方法	5
4	学識経験者の意見聴取	5
5	技術資料の内容の担保	6
6	総合評価方式に係る事項の公表	6
7	入札・契約手続きの流れ	8
8	関係資料（提出書類）	9
	・技術資料の提出について（技術資料表紙）	
	・企業の技術的能力（様式－1 a）	
	・工事成績の実績表（様式－1 b）	
	・配置予定技術者の技術的能力（様式－2）	
	・企業の社会性・信頼性・地域貢献（様式－3）	
	・簡易な施工計画（様式－4）	

1 はじめに

公共工事においては、優良な社会資本整備のため、その品質の確保が求められており、国において「公共工事の品質確保の促進に関する法律（以下「品確法」という。）」及び「公共工事の品質確保の促進に関する施策を総合的に推進するための基本的な方針について」が示されています。

その品確法の基本理念においては、「経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素をも考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約がなされることにより、確保されなければならない。」と定義がされています。

本市では、優良な社会資本の整備、ダンピング防止、不良・不適格業者の排除、談合防止、建設業者の育成等を目的として、価格と品質の両面を総合的に評価する総合評価方式を試行していくことといたしました。

本ガイドラインは、総合評価方式の試行を効率的かつ円滑に実施するため、総合評価方式の試行に関する基本的事項を示すものであります。

2 総合評価方式とは

総合評価方式とは、価格だけで評価していた従来の落札方式と異なり、品質を高めるための新しい技術やノウハウなど、価格に加えて価格以外の要素を含めて総合的に評価する新しい落札方式のことです。価格と品質の両方を評価することにより、総合的に優れた調達を行うことが可能になります。

入札価格が予定価格の制限の範囲内にあるもののうち、価格と品質を数値化した「評価値」が最も高いものを落札者とするにより、予定価格の範囲内で最も品質の良い施工業者を選定します。総合評価方式においては、新しい施工方法や施工上の工夫などの技術提案や同種工事の施工実績、工事成績等が評価の対象となります。

総合評価方式における「品質」とは、工事目的物そのものはもとより、工事の効率性、安全性、環境への配慮等、工事の実施段階における様々な特性、つまり工事そのものの質も含まれます。

この総合評価方式を適用していくことにより、工事の施工に必要な優れた技術的能力を有する者が施工することとなり、工事品質の一層の向上が図れることとなります。また、企業の技術力の競争がモチベーションの向上に繋がり、技術と経営に優れた健全な建設業が育成されることも期待できます。

【従来の方式】



【総合評価方式】



3 総合評価方式の基本的事項

総合評価方式は、工事規模や技術的な工夫の余地等を考慮して、「特別簡易型」と「簡易型」から適したタイプを選択し、試行実施します。

(1) 総合評価方式のタイプ

1) 特別簡易型

技術的な工夫の余地が小さい工事において、業者や配置予定技術者の施工実績や工事成績などの評価項目と入札価格を総合的に評価する方式です。

2) 簡易型

技術的な工夫の余地が大きい工事において、簡易な施工計画を求め評価するとともに、業者や配置予定技術者の施工実績や工事成績などの評価項目と入札価格を総合的に評価する方式です。

(2) 技術力等の評価

総合評価方式における技術力等の評価は、各タイプごとに設定された、企業の技術力及び企業の社会性・信頼性に係る評価種別ごとの評価項目により行います。

1) 企業の技術力

過去の施工実績、工事成績などにより、企業及び配置予定技術者の技術的能力を評価するとともに、「簡易型」のタイプにおいては、簡易な施工計画についても評価します。

2) 企業の社会性・信頼性

地域社会への貢献度や、企業の安全衛生に対する考え方から社会性・信頼性など工事を円滑に実施する能力を評価します。

(3) 評価項目及び配点

タイプ別の工事ごとに、評価項目及びその内容を選択して評価します。配点についても、落札者決定基準として本市が工事ごとに定めます。

なお、入札に参加しようとする者は、同種工事の施工実績や工事成績などの評価項目に関する資料の提出が必要となります。

評価項目及び配点基準表

評価種別	評価項目	特別 簡易型	簡易型	評価基準	配点	
企業 の 技 術 力	簡易な施 工計画の 技術的所 見	/	○ (1項目以 上)	評価項目に対して、評価できる提案 ひとつについて1点とし、最高3点 とする。	0～3	
				・3提案以上該当 3点	0～3	
				・2提案以上該当 2点	0～3	
				・1提案以上該当 1点	0～3	
				・該当なし 0点	0～3	
					未記入または内容が著しく不適切	欠格
	企業 の 技 術 力	過去5年間の同種工事の 元請けとしての施工実績	○	○	有	2
					無	0
		伊勢原市工事での過去 5年間の同業種工事の 成績評定の平均点	○	○	80点以上	2
					80点未満75点以上	1
75点未満65点以上又は成績無し					0	
65点未満					欠格	
伊勢原市での過去5年間の 優良建設工事表彰の受賞実績	○	○	有	2		
			無	0		
ISO9001の認証取得	○	○	有	1		
			無	0		
配置予定 技術者の 技術的 能力	過去5年間の同種工事の施 工経験	○	○	有	2	
				無	0	
	1級国家資格の資格を取得し ており、監理技術者となり得る 資格を有する	○	○	有	1	
				無	0	
企業 の 社 会 性 ・ 信 頼 性	伊勢原市における災害時等の地域貢献 (災害応急対策協定の締結)	○	○	有	1	
				無	0	
	建設機械の保有	○	○	有	2	
				無	0	
	建設業労働災害防止協会への加入	○	○	有	1	
				無	0	
	ISO14001 又はエアアクション 21 の認証取得	○	○	有	1	
				無	0	
建設キャリアアップシステム (CCUS) への登録	○	○	有	1		
			無	0		

35歳未満の雇用	○	○	有	1
			無	0
障がい者の雇用	○	○	有	1
			無	0
更生保護の協力状況（協力雇用主としての登録）	○	○	有	1
			無	0
配点（加算点）合計	19点	21～31点		

(4) 落札候補者の決定方法

総合評価の方法は、標準点（100点）と技術力等の評価に基づく加算点の合計である技術評価点を入札価格で除し、百万を乗じて得た評価値をもって行う「除算方式」とします。

$$\begin{aligned} \text{[評価値]} &= \frac{\text{[技術評価点]}}{\text{[入札価格]}} \times 1,000,000 \\ &= \frac{\text{[標準点(100点)]} + \text{[加算点]}}{\text{[入札価格]}} \times 1,000,000 \end{aligned}$$

- ※[評価値]は小数点以下第5位以下を切捨てます。
- ※[入札価格]は消費税及び地方消費税を除いた価格とします。
- ※[入札価格]が予定価格の制限の範囲を超えた場合は失格とします。
- ※[入札価格]が失格基準価格に満たない場合は、失格とします。
- ※[入札価格]が失格基準価格以上調査基準価格未満の場合、評価値の算出に当たっては[入札価格]を[調査基準価格]に置き換えて算出します。
- ※[入札価格]が予定価格の制限の範囲内にあるもののうち、[評価値]が最も高い者を落札候補者とします。
- ※価格を置き換えて評価された者が落札候補者となった場合は、低入札価格調査を実施します。なお、落札者となった場合の落札価格は[入札価格]（置き換える前の額）とします。
- ※落札候補者が複数となった場合は、「くじ」により落札候補者を決定します。
- ※必要に応じて学識経験者からの意見聴取を行い、落札者を決定します。

4 学識経験者の意見聴取

地方自治法施行令では、「落札者決定基準を定めようとするとき」は、二人以上の学識経験者の意見を聴かなければならないこととされています。

当該意見聴取時において、「落札者を決定するとき」に改めて学識経験者の意見聴取が必要との意見があったときは再度の意見聴取が必要です。

本市においても、総合評価方式での学識経験者からの意見聴取を行います。

5 技術資料の内容の担保

総合評価方式に関し提出された技術資料等の内容が不履行の場合、再度の施工を原則とし、工事成績評定点を評価項目毎に1点を減点します。

再度の施工においても技術資料等の内容が不履行であった場合、あるいは、再施工が困難な場合には評価項目毎に3点を減点します。

なお、配置予定技術者（主任技術者（監理技術者））が、やむを得ない事情（病気・怪我・退職・死亡等）がある場合は、その事情が証明できる資料を発注者に提出し、主任技術者（監理技術者）の変更をすることが出来ます。

その場合、変更後の主任技術者（管理技術者）は、提出した技術資料のうち「配置予定技術者の技術的能力」において評価した加算点の合計と、同点以上の評価となる技術者でなければならない。同点以上の評価となる技術者を配置できない場合は、工事成績評定点を3点減点します。

ただし、減点の最大は8点とします。

また、虚偽の記載等悪質な行為だと認められた場合には、伊勢原市競争入札参加資格停止等措置要領に基づく指名停止等を講じます

6 総合評価方式に係る事項の公表

総合評価方式の実施にあたっては、手続きの透明性・公平性を確保するため、入札手続き開始時及び落札者決定時において次の事項を明らかにします。

（1）入札手続き開始時における明示

総合評価方式による入札手続きを開始する時は、入札公告兼入札説明書に次の事項を明記します。

- ① 総合評価方式による入札であること。
- ② 技術資料の提出方法、提出期限
- ③ 総合評価に関する事項
 - ・評価項目
 - ・評価基準
 - ・配点
 - ・失格要件
 - ・総合評価の方法
 - ・技術資料の内容の担保
- ④ 落札候補者及び落札者の決定方法

（2）落札者決定時における明示

総合評価方式により落札者を決定した時は、速やかに入札調書を公表するとともに、次の事項を記載した評価調書を公表します。

- ① 入札参加者名
- ② 入札参加者の入札価格
- ③ 入札参加者の加算点、技術評価点、評価値

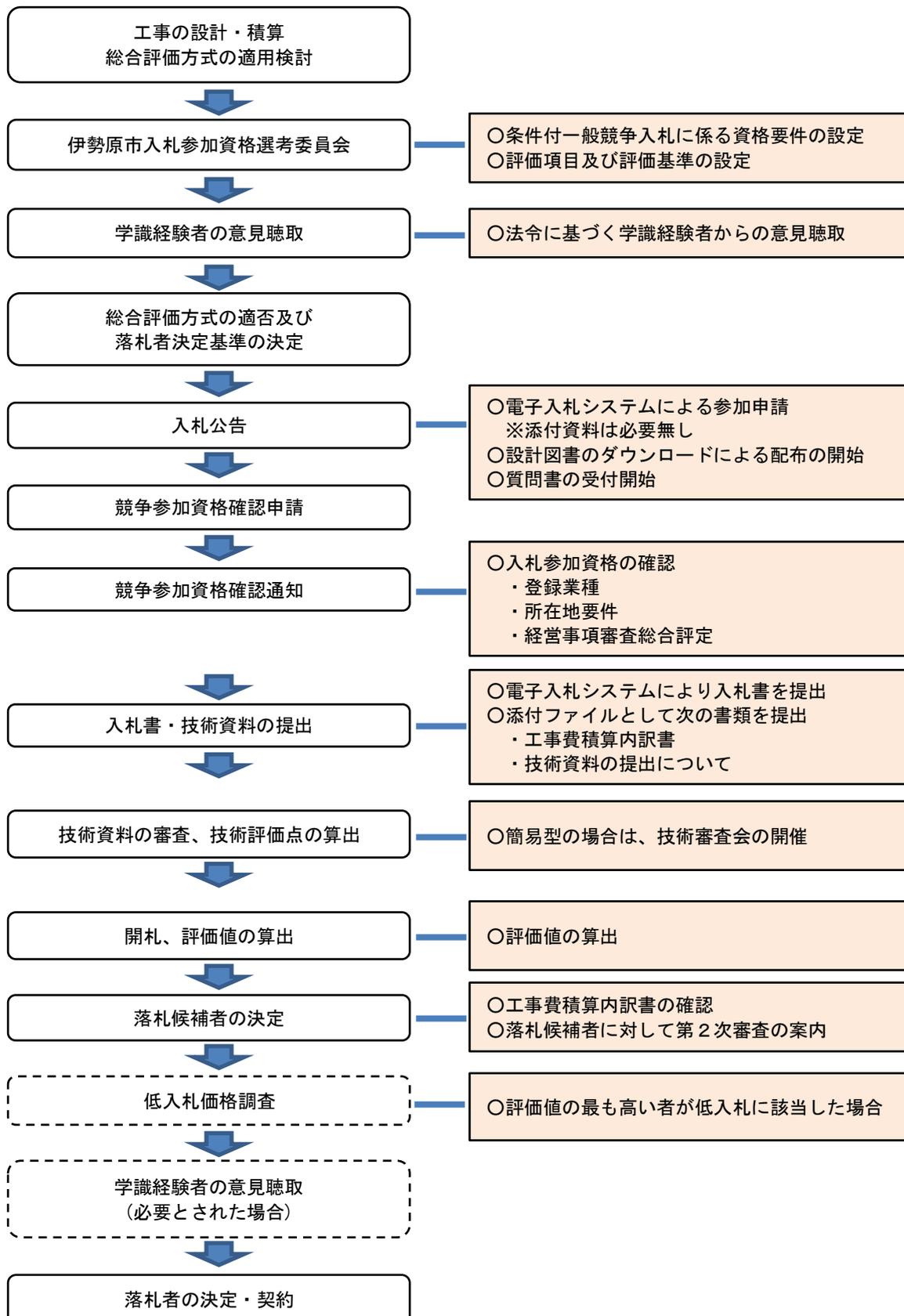
ただし、③については、入札価格が制限範囲内にある者（技術力等の評価において失格となった者を除く。）のみとします。

《落札者以外の入札参加者の技術評価点について》

技術評価点については、評価値の最も高い者から順に技術資料の根拠となる資料等を審査して落札者を決定するため、落札者より評価値が低い入札者の技術評価点の審査は行いません。このため、公表される落札者以外の入札参加者の技術評価点及び評価値は確定値ではありません。

7. 入札・契約手続きの流れ

本市の総合評価方式による手続きについては、次のように行われます。



8 関係資料（提出書類）

- ・ 技術資料の提出について（技術資料表紙）
- ・ 企業の技術的能力（様式－1 a）
- ・ 工事成績の実績表（様式－1 b）
- ・ 配置予定技術者の技術的能力（様式－2）
- ・ 企業の社会性・信頼性・地域貢献（様式－3）
- ・ 簡易な施工計画（様式－4）

(技術資料表紙)

〇〇年〇〇月〇〇日

伊勢原市長 殿

商号又は名称

代表者氏名

㊟

※ 社

※の枠内は、記入しないでください。

技術資料の提出について

次の工事について、技術資料を提出します。

なお、資料の内容については事実と相違ないことを誓約します。

1. 工事名 〇〇年度〇〇〇〇工事
2. 工事場所 伊勢原市 〇〇地先 〇〇河川〇〇〇川
3. 提出資料
 - ・技術資料の提出について（技術資料表紙）
 - ・企業の技術的能力（様式－1 a）
 - ・工事成績の実績表（様式－1 b）
 - ・配置予定技術者の技術的能力（様式－2）
 - ・企業の社会性・信頼性・地域貢献（様式－3）
 - ・簡易な施工計画（様式－4）

(様式－1b)

会社名：

※ 社

※の枠内は、記入しないでください。

工事成績の実績表

番号	工事の情報	評定点
1	発注機関： 工期（最終）：〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇年〇〇月〇〇日 工事名※： 工事場所※： 受注形態※： コリス登録番号：〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇	〇〇点
2	発注機関： 工期（最終）：〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇年〇〇月〇〇日 工事名※： 工事場所※： 受注形態※： コリス登録番号：〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇	〇〇点
3	発注機関： 工期（最終）： 工事名※： 工事場所※： 受注形態※： コリス登録番号：	〇〇点
4	発注機関： 工期（最終）： 工事名※： 工事場所※： 受注形態※： コリス登録番号：	〇〇点
5	発注機関： 工期（最終）： 工事名※： 工事場所※： 受注形態※： コリス登録番号：	〇〇点

注1 記述に誤りがある場合は、他の評価項目と同様に評価しないものとするが、工事成績評定点の平均点については、真の平均点が65点未満となる場合に限り、評価に基づき減点する。

注2 共同企業体として受注した工事についても、代表者・構成員にかかわらず全て記述すること。

注3 対象となる検査の種類は、完成検査(指定部分に係るものは含まない。)に限る。

(様式-2)

会社名：

配置予定技術者氏名：

※ 社

※の枠内は、記入しないでください。

配置予定技術者の技術的能力

過去の 同種工事の 施工実績 (〇〇年度～ 〇〇年度) 元請としての実績 (代表的なもの 1件)	実績の有無	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	従事役職	<input type="checkbox"/> 主任技術者 ・ <input type="checkbox"/> 監理技術者
	工事名	〇〇年度〇〇〇〇工事
	工事場所	伊勢原市 〇〇地先 〇〇河川〇〇〇川
	契約金額(最終)	〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円
	工期(最終)	〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇年〇〇月〇〇日
	発注機関	
	工事概要	
添付書類	コリンズデータ（登録されていない場合は契約書）全 頁の写しを提出すること。	
取得資格	資格名	
	証明書等番号	資格を証明できる書類の写しを提出すること。
	取得年月日	
	監理技術者資格者証の有無	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	証明書等番号	資格を証明できる書類の写しを提出すること。
	取得年月日	

※本様式に記載した配置予定技術者は、変更することができません。

